

2023年1月11日

各位

JX金属株式会社

ＪＸ金属製錬株式会社佐賀関製錬所および日立工場の The Copper Mark 認証取得について
—責任ある生産活動を評価され日本国内で初めて認証取得—

ＪＸ金属株式会社（社長：村山 誠一、以下「当社」）の子会社であるＪＸ金属製錬株式会社（社長：安田豊、以下「ＪＸ金属製錬」）が運営する佐賀関製錬所および日立工場は、2022年12月15日付で The Copper Mark 認証を取得いたしました。

The Copper Mark は、2019年に国際銅協会（International Copper Association, ICA）^(※1)によって設立された、責任ある生産活動を推進し、銅業界のグリーントランジションへの取り組みを示す信頼性の高い保証の枠組みです。ＪＸ金属製錬は、2022年3月より両拠点での The Copper Mark の認証取得手続きを開始し、独立した第三者機関の審査を経て、この度日本国内で初めて認証取得に至りました。これは32にわたる環境、人権、コミュニティ、ガバナンスなど幅広い項目の基準を遵守していることが認められたものであり、国際的なESGへの要請が高まる中において、持続可能な事業の競争力強化に資するものです。

今般認証を取得した両工場は、脱炭素社会の実現に欠かせない銅の安定生産や、金属の資源循環の推進において重要な役割を果たしています。両工場では従前より「責任ある生産」の取り組みを推進しており、The Copper Mark の認証取得は、これら取り組みが客観的に評価されたものです。両工場では今後も継続的に The Copper Mark で定められた各種基準の達成状況に関する評価を受けることとなっております。

本件は、当社が本年8月3日に発表した「サステナブルカッパー・ビジョン」において掲げている「4つの施策」^(※2)のうちの一つ「責任ある調達とその他施策の推進」に関する取り組みの一部となります。今後も当社グループでは、サステナブルカッパー・ビジョンで掲げる各種施策の遂行を通じて、脱炭素や資源循環などを推進し、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

以上

(※1) 国際銅協会（International Copper Association）について

銅の新用途開発を含めた市場開拓、需要促進を目的とするとともに、国連の持続可能な開発目標に積極的な貢献を目指し、世界各国の銅鉱山、製錬会社および銅加工会社が会員となっている世界的組織。本部を米国ワシントン D. C. に構える。

(※2) 「サステナブルカッパー・ビジョン」で掲げる「4つの施策」は以下のとおりです。

- ① カーボンフットプリントの削減
- ② リサイクル原料比率の向上
- ③ 責任ある調達とその他施策の推進
- ④ Green Enabling Partnership の形成

「サステナブルカッパー・ビジョン」および「4つの施策」の詳細は、2022年8月3日付プレスリリース「[「サステナブルカッパー・ビジョン」の策定について](#)」および同リリース別紙「[サステナブルカッパー・ビジョン JX金属が目指すサステナブルな銅の姿](#)」をご覧ください。